

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成 24 年 3 月 2 日

審査機関名 (株)JACO CDM

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	スーパーマーケットにおけるヒートポンプ導入による省エネルギー事業
排出削減事業者名	ラッキー商事株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
事業実施場所	北海道札幌市東区北 49 条東 7 丁目 2 番 10 号
事業の概要	スーパーマーケットの空調設備として、これまでの重油焚温風暖房機、水冷式エアコンを高効率のヒートポンプ空調設備に更新することで、エネルギー使用量ならびに二酸化炭素排出削減を図る
排出削減量の計画	(全電源炭素排出係数使用) 2011 年度： 128 tCO <sub>2</sub> /年 2012 年度： 180 tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 308 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット 認証期間	開始日 2011 年 10 月 5 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

### 3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認している。</p> <p>排出削減事業実施場所： 北海道札幌市東区北 49 条東 7 丁目 2 番 10 号 事業実施サイトの視察日付：2012 年 2 月 13 日</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認している。</p> <p>2) 1975 年及び 1981 年に導入した更新前設備の利用期間は法定耐用年数の 15 年の 2 倍以上であるが、既存設備が継続的に利用可能であることを関係者への質問ならびに日常点検の記録等現地視察で確認している。</p> <p>3) 投資回収年数計算の根拠データ及び検算により、本事業の投資回収年数は 4.6 年であることを確認している。</p> <p>4) 本事業者はスーパーマーケットの空調のエネルギー消費量が大きく、従来から省エネルギーと CO<sub>2</sub> 削減活動に積極的に取り組んできた。</p> <p>今回の CO<sub>2</sub> 排出削減事業は従来の省エネルギーと CO<sub>2</sub> 削減に加え、国内クレジット制度の活用を前提として意思決定されたことを関係者への質問等により確認している。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画に参加していないことについては、現地有効化審査において、排出削減事業者への質問により、自主行動計画に参加していない企業であることを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済方法論 004 に基づき排出削減を計算しており、方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認している。</p> <p>承認済方法論 004</p> <p>適用条件 1 既存の空調設備よりも高効率の空調設備に更新すること</p> <p>適用条件 2 空調設備の更新を行わなかった場合、既存の空調設備を継続的に利用することができること</p> <p>適用条件 3 空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与え</p>

	<p>る活動量を用いないため、活動量の計測可否は問わないことを関係者への質問や現地視察により確認している。</p> <p>2) 本排出削減事業がなければ既存の空調設備を継続して使用することを、本排出削減事業者への質問、関連資料の閲覧等により確認している。</p> <p>3) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ関係者への質問、関連証憑ならびに現地視察により確認している。</p>
--	--

#### 4. 特記事項

更新前の空調設備においてフロン冷媒を使用されており、フロン回収破壊法が規定している引取証明書等の書類を確認することで、同法に基づく登録回収業者により当該排出削減事業に係るフロン類が適切に回収されていることを確認している。

以上